

令和3年5月14日（金曜日）

港湾インフラ整備 予算拡大が必要

足立議員

参議院国土交通委員会が13日に開かれ、造船・海運分野の国際競争力強化などを図るための海事産業強化法案に関する質疑が行われた。この中で足立敏之議員「写真」は、港湾インフラ整備の必要性について触れ、船舶大



型化への対応などで、予算を拡大する必要があるとの考えを示した。足立議員は、造船・海運分野の競争力強化と港湾整備は表裏一体の関係とした上で、「大型化の対応が必要となる水深16以上の岸壁は、中国に108バース、韓国に40バース、シンガポールに32バース、マレーシアに21バースあるが、日本には17バースしかない」とし、大

型化に対応した岸壁整備が後れをとっている」と説明。脱炭素化推進の視点も含め、港湾分野の予算を拡大し、整備を進めていく必要があるとした。赤羽一嘉国交相は、「日本の国土や購買力を考えると中国の百を超えるバース数と競争はできないだろう。トランシップを中心にやっているシンガポールや釜山などの対比が重要になる。予算を増やす努力も大事だが、予算をどう使うか。まずは集中して生産性の向上に切り込んでいく必要がある」と答えた。